

北海道支部ニュース 第52号

日本分析化学会 北海道支部 2015年12月



北海道分析化学各賞の受賞者決まる



北海道分析化学賞

石田 晃彦 先生 (北海道大学大学院工学研究院)
大津 直史 先生 (北見工業大学機器分析センター)

同奨励賞

佐々木 隆浩 先生 (室蘭工業大学大学院工学研究科)

同功労賞

大澤 雅俊 先生 (北海道大学触媒科学研究所)
久万 健志 先生 (北海道大学大学院水産科学研究院)



授賞式・受賞記念講演会

16:15 ~ 16:25 • 16:30 ~ 17:50

「簡易分析のためのバイオ・化学システムおよびマイクロ流体システムの構築」

(北大院工) 石田 晃彦

「ナノ表面分析の活用による生体機能型金属材料の開発とその評価」

(北見工大) 大津 直史

「核磁気共鳴および電子スピン共鳴によるπ共役系らせん高分子の構造解析」

(室工大) 佐々木 隆浩

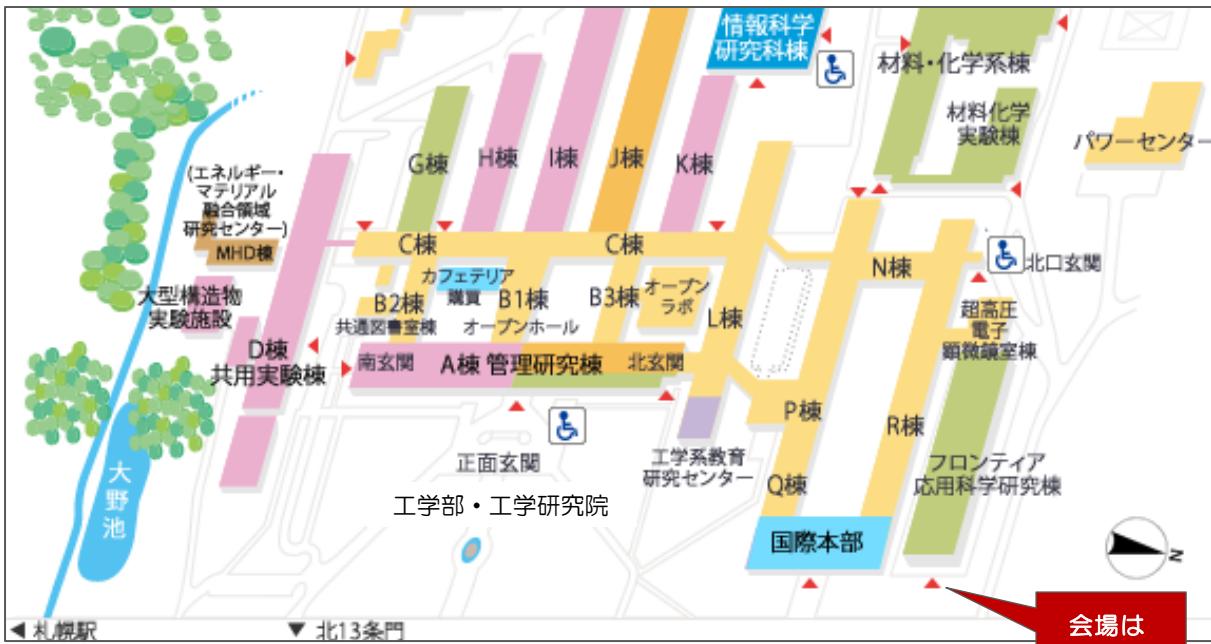
主催 (公社)日本分析化学会北海道支部



期日 2016年1月20日(水) 16:15~17:50

会場 北海道大学フロンティア応用科学研究棟1Fセミナー室(北区北16西8) ※次頁ご参照。

お問い合わせ (公社)日本分析化学会北海道支部事務局 (担当:氏間) jsac-hb@w9.dion.ne.jp



※ アクセス：地下鉄南北線「北12条駅」または「北18条駅」下車、徒歩5~15分。

※ 「授賞式・受賞記念講演会」へのご参加は事前申し込み不要です。参加無料。



これから行事予定

第51回 氷雪セミナー

既に前回の支部ニュース等でもご案内致しております通り、第51回冰雪セミナーは以下の要領で開催されます。

主催：(公社)日本分析化学会北海道支部

期日：2016年1月10日(日) 13時30分～
1月11日(月) 11時00分

会場：札幌北広島クラッセホテル(北広島市中ノ沢316-1)電話:011-373-3800
交通手段:(1) 札幌駅から快速エアポートで約16分 JR 北広島駅からシャトルバスで約10分、(2) 札幌から車で約40分(約34km)
<http://kitahiroshima.classe-hotel.com/>
なお、1月11日(月)のセミナー終了後にホテルからの送迎バス(11:30 ホテル出発札幌駅北口行)をご利用いただけます。

概要：北海道のエネルギー・環境に関する現状や将来展望について専門家の話題提供およびディスカッション

講演：

1. 北海道のバイオマスプラントの現状と将来
松田従三 様 (北海道大学名誉教授)
2. 災害としての雪、資源としての雪
石井吉之 様 (北海道大学低温科学研究所)
3. 天然ガスの普及拡大とスマートエネルギー社会の実現に向けて
伊藤智徳 様 (北海道ガス株式会社)

懇親会：講演会終了後クラッセホテル内で開催

参加費：1万3千円(当日承ります)

申込方法：世話人までメールでお願いします(お電話等でのお申込みも承ります)。期日が迫っておりますので、参加をご希望の場合はお急ぎご連絡下さいますようお願い申し上げます。

世話人：北海道大学大学院工学研究院量子理工学部門 藤吉 亮子(電話:011-706-6674 e-mail: fuji@eng.hokudai.ac.jp)

(北海道大学大学院工学研究院 藤吉 亮子)

化学系学協会北海道支部 2016年冬季研究発表会



共催

日本分析化学会・日本化学会・触媒学会・電気化学会・腐食防食学会・表面技術協会・石油学会 各北海道支部

会期 2016年1月19日(火)・20日(水)

会場 北海道大学フロンティア応用科学研究棟
(札幌市北区北16条西8丁目)

特別講演

(1月19日16:30～17:40/A会場[予定])
「高効率・大面積化を目指した水分解光触媒
シートの開発」

堂免一成 先生
(東京大学大学院工学系研究科)

懇親会

1月19日(火)18時(予定)より北海道大学北部
食堂(札幌市 北区北17条西8)にて開催予定。
【通常会費(12月16日以降払込分)】一般
6,000円、学生2,000円。

参加登録費

【通常参加登録費(12月16日以降払込・申込
分)】共催学会員:一般3,000円、非会員:一
般4,000円(いずれもプログラム集・予稿閲覧
権を含む)。

通常参加登録申込締切 2016年1月15日(金)

参加登録・懇親会予約申込方法

ウェブサイトにて必要事項を記入の上、お申
し込みください(複数名での同時登録も可
能です)。参加登録費・懇親会費については銀
行振込にてご送金下さい(1月15日まで、それ
以降は当日受付にて現金でお支払い下さい)。
登録の際のメールへの返信にて入金終了を
お知らせ下さい。

振込先

北海道銀行(0116)・札幌駅北口支店(152),
普通、1239671(名義) 化学系学協会北海道
支部2016年冬季研究発表会 実行委員長
神谷裕一

予稿公開および閲覧

予稿はウェブにて公開します。閲覧には参加
登録(実行委員会での入金確認)し、その際
に登録したメールアドレスとパスワードが必
要になります。

ウェブサイト

<http://pcat.cat.hokudai.ac.jp/toukiken/>

*詳細な日程やプログラム、参加登録などす
べての情報は2016年冬季研究発表会ウェブ
サイトから確認できます。冬季研究発表会に
関する最新の情報は、webサイトを通じてご案
内いたしますので、隨時ご確認下さい。

連絡先

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 5 丁目
北海道大学大学院地球環境科学研究院
化学系学協会北海道支部 2016 年冬季研究發
表会 神谷裕一
TEL/FAX: 011-706-2217,
E-mail: toukiken@pcat.cat.hokudai.ac.jp

プログラム

プログラム暫定版を次項に掲載致しますが、
12月4日現在の情報です。
正確な情報については以下の公式ウェブサイ
トをご覧ください。

<http://pcat.cat.hokudai.ac.jp/toukiken/>

(北海道教育大学札幌校
轟崎 悌司)

タイムテーブル

化学系学協会北海道支部 2016年冬季研究発表会

2016年1月19日（火）

時間帯	A会場《レクチャーホール》	B会場《セミナー室2》	C会場《セミナー室1》
09 : 00 ~ 10 : 00	<p>《無機化学・無機合成・化学工学・石油学》 座長：<未定></p> <p>1A01* 異なるチオール配位子で保護された銀ナノ粒子のマトリクスパッタリング合成（北大院工）○中林良太・石田洋平・米澤徹</p> <p>1A02* PVP保護金属スズナノ粒子の化学合成と室温焼結（北大院工）○白井宏明・Nguyen Thanh Mai・石田洋平・米澤徹</p> <p>1A03* チタン化合物のみを原料とする還元型酸化チタンの合成（北大院環境科学¹・北大院地球環境²）○三栖紗也香¹・平山純¹・神谷裕一²</p> <p>1A04* 水溶液中ZIF-8合成における非イオン性界面活性剤添加効果（北大院工¹・東工大院理工²・Delft U. Tech.³）○長谷川実穂¹・Zhang Yaqi¹・中坂佑太¹・Canan Gucuyener³・多湖輝興²・Jorge Gascon³・Freek Kapteijn³・増田隆夫¹</p>	<p>《有機化学・有機合成・高分子化学》 座長：<未定></p> <p>1B01* カルボジイミドの軸不齊-VCDによる検出と特性解明（北大院生命科学¹・北大院先端生命科学研究院²）○佐藤はるか¹・谷口透²・門出健次²</p> <p>1B02* VCDによる五員環糖とヌクレオシドの立体配置・立体配座解析（北大院生命科学¹・北大院先端生命²）○中野貴恵¹・谷口透²・門出健次²</p> <p>1B03* 凝集誘起型発光分子を用いた液体発光材料の開発（北大理¹・北大院総化²・北大院理³）○町田崇¹・大浦剛²・小門憲太^{2,3}・佐田和己^{2,3}</p> <p>1B04* アゾベンゼン系フォトクロミックアモルファス分子材料—ポリ酢酸ビニル複合膜のミクロ構造の光変化（室蘭工大）○市川涼児・中野英之</p>	<p>《エネルギー・電気化学》 座長：<未定></p> <p>1C01* 中温作動型BaCe_{0.8}Y_{0.2}O_{3-δ}水素膜燃料電池の分極特性評価（北大院総化¹・北大院工²・JSTさきがけ³）○小林昌平¹・青木芳尚^{2,3}・幅崎浩樹²</p> <p>1C02 地下貯留二酸化炭素の利活用を目指した電気化学的微生物メタン変換研究（INPEX 技研¹・東大大学院工²）○前田治男¹・五十嵐雅之¹・小林肇²・福島直哉²・佐藤光三²</p> <p>1C03* ブラウンミラーライト型 Ca₂Fe_{2-x}Co_xO₅の酸素発生電極触媒活性（北大総化¹・鳥大工²・北大院工³・神奈川大工⁴・京大産官学⁵・京大院人・環⁶）○野田裕之¹・辻悦司^{1,2,3}・本橋輝樹⁴・青木芳尚^{1,3}・小山幸典⁵・森正弘⁶・谷田肇⁵・内本喜晴⁶・荒井創⁵・幅崎浩樹^{1,3}</p> <p>1C04* Aサイトの一部を部分置換したLa-Mn-Ni系ペロブスカイト型酸化物の酸素還元・酸素発生電極触媒活性（北大院総化¹・北大院工²・鳥取大工³・神奈川大工⁴・京大産官学⁵・京大総人⁶）○井上佳士¹・辻悦司^{2,3}・本橋輝樹⁴・青木芳尚^{1,2}・谷田肇⁵・内本喜晴⁶・荒井創⁵・幅崎浩樹^{1,2}</p>
10 : 00 ~ 10 : 10	休憩/PC接続	休憩/PC接続	休憩/PC接続
10 : 10 ~	<p>《触媒化学・化学工学・石油学》 座長：<未定></p> <p>1A05* 固体触媒によるメタンの部分酸化反応（北大理¹・北大触媒研²）○小笠原涉¹・小林広和²・福岡淳²</p> <p>1A06 メタン直接改質反応－一ナノカーボン形成反応の検討－（北見工大）○早坂雪彩奈・大塚葵・濱屋尚史・岡二崎文保</p> <p>1A07* 酸化鉄系触媒を用いた接触分解反応によるリグニン可溶化液からのフェノール類製造（北大院工¹・出光興産²・東工大院³）○小西</p>	<p>《高分子化学》 座長：<未定></p> <p>1B05* マクロモノマーの環化重合による多環状高分子の合成（北大院総化¹・北大工²・北大院工³）○笹森哲弥¹・本田康平²・磯野拓也³・田島健次³・佐藤敏文³</p> <p>1B06* 末端官能基化スターポリマーの分子内環化によるかご型ポリマーの合成（北大工¹・北大院総化²・北大院工³）○本田康平¹・笹森哲弥²・磯野拓也³・田島健次³・佐藤敏文³</p>	<p>《無機化学・無機合成》 座長：<未定></p> <p>1C05* ポリマー被覆ブルシアンブルー修飾炭素素材によるCs吸着性能の検討（北大院環境科学¹・室工大院工²）○山下綾乃¹・佐々木隆浩²・田中俊逸¹</p> <p>1C06* π相互作用の制御を基軸としたサブナノ金クラスターの特性チューニング（北大院環境科学）○岩崎光紘・小林直貴・七分勇勝・小西克明</p> <p>1C07* 優れた耐熱性を有する希土類錯体ポリマーの合成とその応用</p>

11 : 10	<p>亮太¹・川又勇来¹・小山啓人²・吉川琢也¹・中坂佑太¹・多湖輝興³・増田隆夫¹</p> <p>1A08 廃プラスチックの連続接触分解—ポリスチレン添加がFe_2O_3触媒に与える影響—（北見工大¹・JFEスチール²）○佐藤恵美¹・堀田尊¹・尾谷和紀¹・百野浩一²・高木克彦²・岡二崎文保¹</p>	<p>1B07* 有機分子触媒を用いたグレープトランスマーケートによる星形ポリアクリル酸エステルの合成（北大工¹・北大院総化²・北大フロンティア研セ³・北大院工⁴）○吉野翔太¹・伊藤貴弘²・陳友根³・佐藤信一郎⁴・覚知豊次^{3,4}</p> <p>1B08* 有機超塩基触媒を用いた熱応答性脂肪族ポリエーテルの精密合成（北大総化¹・北大院工²・フロンティア化学セ³）○宮地香奈¹・佐藤悠介¹・磯野拓也²・佐藤敏文²・覚知豊次^{2,3}</p>	<p>(北大院総化¹・北大院工²) ○中島綾子¹・中西貴之²・北川裕一²・伏見公志²・長谷川靖哉²</p> <p>1C08* Mo(II)六核クラスターの励起三重項状態における構造効果（北大院総化¹・北大院理²）○赤木壮一郎¹・喜多村二昇^{1,2}</p>
11 : 10 ~ 11 : 20	休憩/PC接続	休憩/PC接続	休憩/PC接続
11 : 20 ~ 12 : 20	<p>《触媒化学》 座長：<未定></p> <p>1A09* マイクロ波加熱を利用するメタン直接分解反応（3）—触媒活性種の形成機構と再利用化の検討—（旭川高専）○石丸裕也・十川智一・宮越昭彦</p> <p>1A10* マイクロ波加熱を利用するメタン直接分解反応（4）—マイクロ波運転モードとゼオライト種の関係—（旭川高専）石丸裕也・○十川智一・宮越昭彦</p> <p>1A11 CaO-Al₂O₃複合酸化物の調製と塩基触媒作用（北教大人間地域科学）○小寺成美・松橋博美</p> <p>1A12* ジルコニアを触媒とするオレフィン水素化反応に及ぼす有機ケイ素修飾剤の役割（北見工大）○橋本和孝・吉田翼・渡邊亮太・山田洋文・射水雄三</p>	<p>《高分子化学・有機化学・有機合成》 座長：<未定></p> <p>1B09* 1-カルバモイルピレン誘導体のメカノフルオロクロミック挙動（室蘭工大¹・北大院工²）○荒拓哉¹・永田英介¹・大曲駿²・中西貴之²・長谷川靖哉²・中野英之¹</p> <p>1B10* ベンゾインドロカルバゾール（BIC）骨格を有するツイン型電子供与体の合成と物性（北大院理¹・北大理²・秋大院工学資源³・京大院薬⁴）鈴木孝紀¹・○能條航²・坂野優斗¹・上遠野亮¹・藤原憲秀³・大野浩章⁴</p> <p>1B11* ダブルマイケル付加反応を鍵とするジベレリンA₁₁₄の全合成（北大院総化¹・北大院理²）○畠ヶ未来¹・酒匂隆介¹・谷野圭持²</p> <p>1B12* 麴菌発現系を利用した抗腫瘍性物質ophiobolin類の全合成研究（北大院総化¹・北大院理²・岩手医大薬³）○成田興司¹・千葉諒太¹・南篤志²・藤井勲³・及川英秋²</p>	<p>《表面処理・腐食防食》 座長：<未定></p> <p>1C09* エチドロン酸ポーラスアルミニナの成長挙動と高規則化（北大院工）○竹永章正・菊地竜也・夏井俊悟・鈴木亮輔</p> <p>1C10* Al管状試料表面に形成したアノード酸化皮膜の評価（旭川高専¹・ダイキン工業²）○越智敬祐¹・姉帶一樹¹・安久津瑞希¹・兵野篤¹・千葉誠¹・柴田豊²・高橋英明¹</p> <p>1C11* 陽極酸化処理による、NiTi表面上への酸化皮膜形成（北見工大）○平野雄馬・大津直史</p> <p>1C12* 金属上の水膜における酸素拡散挙動に及ぼす温度の影響（北大院工）○坂木亮太・坂入正敏</p>
12 : 05 ~ 14 : 20	昼休み/PC接続・【1階エントランスホール・2階ホワイエ】ポスター発表（奇数）		
P01* 極度に伸長したC-C結合を有する1,1,2,2-テトラアリールジヒドロピラシレンの構造と特性（北大院理 ¹ ・北大理 ² ・秋大院工学資源 ³ ）鈴木孝紀 ¹ ・○大野久史 ² ・内村康人 ¹ ・上遠野亮 ¹ ・藤原憲秀 ³			
P03 蛍光色素母骨格へのフタルヒドラジド部位のクロスカップリングによる化学発光色素の合成（北大院環境科学）○福世泰秀・山田幸司			
P05* Friedel-Craftsアルキル化反応の系統的理論研究；反応設計指針の抽出を目指して（北大理 ¹ ・北大院理 ² ）○三瓶匡史 ¹ ・前田理 ² ・武次徹也			
P07* 湿度に応答する発光性有機複合膜の創製（室蘭工大）○西村智博・永田英介・市川涼児・中野英之			
P09* マルチシリンドー構造をもつ二分子膜ゲルの機能発現（北大院生命科学 ¹ ・北大院先端生命 ² ）○水戸京 ¹ ・Md. Anamul Haque ² ・李旭峰 ¹ ・野々山貴行 ² ・中島祐 ² ・黒川孝幸 ² ・グン剣萍 ²			
P11* トリフェニルアミン骨格を含むアモルファス分子材料の凝集誘起発光（室蘭工大）○宍戸一樹・市川亮太・栗田基輝・水口敬・中野英之			
P13* 複数のトリフェニルアミン骨格を含む新規発光性アモルファス分子材料の創製（室蘭工大）○小椋硬介・中野英之			

- P15*** Poly(3-acylthiophene)の重合と導電性状態の安定性（北大院総化¹・北大院工²）○劉翔¹・小泉均²
- P17*** ホスホン基リンカーを有する新規シクロメタレート型イリジウム錯体の合成と発光特性（北大理¹・北大院総化²・北大院理³・JST-さきがけ⁴）○渡辺周平¹・蝦名昌徳²・吉田将己³・小林厚志^{3,4}・加藤昌子³
- P19*** アントリルエチニル基を有する新規Ru(II)錯体の合成と光物性（北大理¹・北大院理²・北大院総化³）○石村遼¹・中川淳史³・藤井翔^{2,3}・喜多村二昇^{2,3}
- P21*** MLCT性を有する新規Mo(II)六核クラスターの合成と発光特性（北大理¹・北大院総化²・北大院理³）○堀口泰士郎¹・赤木壯一郎²・藤井翔^{2,3}・喜多村二昇^{2,3}
- P23*** リンカ一部位を導入したシクロメタレート型白金複核錯体の合成と酸化還元特性（北大理¹・北大院総化²・北大院理³）○青松純也¹・中島愛梨²・舌間穂高²・吉田将己³・小林厚志³・加藤昌子³
- P25*** CdSナノロッドを用いた光水素発生触媒系におけるサイズ効果の検討（北大理¹・北大院総化²・北大院理³・JST-さきがけ⁴）○北野裕嗣¹・澤口加奈²・吉田将己³・小林厚志^{3,4}・加藤昌子³
- P27** クエン酸法によるLa_{2-x}Pr_xNiO_{4+δ}の合成（室工大工¹・室工大院工²）○小松幸司¹・越田峻輔²・澤口直哉²・佐々木眞²
- P29*** 分子動力学法によるNa₂O-B₂O₃系ガラスの構造および熱膨張解析（室蘭工大）○柴崎凌・山本優也・澤口直哉・佐々木眞
- P31** Ag-Bi-O-N系新規化合物の水熱合成（室工大工¹・室工大院工²）○久保田舞¹・大谷玲文²・澤口直哉²・佐々木眞²
- P33*** 多配位性架橋配位子を用いたヨウ化銅(I)クラスター配位高分子の構造と発光特性（北大理¹・北大院総化²・北大院理³）○吉田優也¹・阿良田龍哉²・吉田将己³・小林厚志³・加藤昌子³
- P35** Visible light-induced antimicrobial activity of titania modified with mono and bi-metallic (Au/Ag) nanoparticles (ICAT, Hokkaido Univ.) ○Maya Endo・Zhishun Wei・Bunsho Ohtani・Ewa Kowalska
- P37*** 反応経路自動探索法を用いた金属クラスターのNO還元能評価法の検討（北大理¹・北大院総合化学²・北大院理³）○森田啓嗣¹・高木牧人²・前田理³・武次徹也³
- P39*** 昇温X線回折による酸化チタン粉末の結晶相転移の解析（北大院環境科学¹・室工大院工²・北大触媒研³）○瀧澤大¹・高瀬舞^{2,3}・高島舞^{1,3}・大谷文章^{1,3}
- P41** -20℃を用いたトリコデルマ属菌株の凍結保存-保護液と供試菌株の影響-（旭川高専）○増羽龍斗・富樫巖
- P43** -20℃を用いた食用キノコ菌株の凍結保存-保護液としての高濃度糖液の利用可能性-（旭川高専）○安東敬史・大谷和也・富樫巖
- P45*** アルギン酸-タンニン酸複合ゲルビーズのストロンチウムに対する吸着評価（北大院環境科学¹・日立化成株式会社²）○高橋慧良¹・上面雅義²・川口俊一¹・田中俊逸¹
- P47*** 蛍光基含有ボロン酸ポリマーによる次亜塩素酸センシング（北見工大）○宮下孝洋・竹島完・兼清泰正
- P49*** ホルムアルデヒド応答性薄膜の色調変化挙動に及ぼすモノマー組成の影響（北見工大）○杉沢佑樹・中橋一誌・兼清泰正
- P51*** 人工細胞膜内でチャネルとイオノフォアを連携させた電気化学計測とその応答のシミュレーション（北見工大）○姚文明・千葉武士・東山愛生・宇都正幸
- P53*** 酸性NaCl水溶液中でステンレス鋼上に形成する表面皮膜の分析（北大院工¹・TenarisNKKTubes²）○水上裕貴¹・坂入正敏¹・橋爪修司²
- P55*** 光誘起振動反応の顕微計測（北大理¹・北大院理²）○櫻井花穂里¹・三浦篤志^{1,2}・喜多村二昇^{1,2}
- P57*** 種々の色素を用いた過酸化水素センサーの作製（北見工大）○山田龍真・中橋一誌・兼清泰正
- P59*** 界面動電的手法による鉛の除去におけるフミン酸の影響（北大院環境科学）○岩村桐子・明本靖広・田中俊逸
- P61*** 新規の分子刺激応答性ヒドロゲルの創製（北見工大）○藤井剛・竹島完・兼清泰正
- P63*** 界面レーザー捕捉により誘起されるタンパク質集合体・結晶形成の顕微計測（北大理¹・北大院理²）○上田恭子¹・三浦篤志^{1,2}・喜多村二昇^{1,2}
- P65*** 金電極表面におけるイオン液体の動態（旭川高専¹・北大触媒セ²・名工大工³）○信田優美¹・佐藤茜¹・本林健太³・千葉誠¹・大澤雅俊²・兵野篤¹
- P67*** Cu-Mo合金薄膜における再結晶化の熱分析による評価（関東学院理工¹・関東学院院工²・関東学院工³）○赤堀巧汰¹・川村涉²・下地一平²・住吉理愛³・渡辺宣朗¹・小岩一郎^{1,2}
- P69** 電気化学的析出法による鉄カルコゲナイトの作製と評価（関東学院理工¹・関東学院院工²・関東学院工³）○渡辺宣朗¹・小池翔磨¹・本村美乃理¹・下地一平²・住吉理愛³
- P71** 摻水性鉄含有炭素電極における電極触媒活性（北大院環境科学¹・北大院地球環境²）○矢野祥平¹・加藤優^{1,2}・八木一三^{1,2}
- P73*** 第4級アンモニウム塩添加による非懸濁溶液からのZn-AlOx(OH)y複合電析（関東学院院工¹・関東学院工²・関東学院理工³）○一寸木健太¹・山本悠也¹・下地一平¹・奥山健志²・村田直輝²・吉田渕²・住吉理愛²・渡辺宣朗³・小岩一郎^{1,3}

P75*	塗布による導電性高分子の金属へのコーティングと耐腐食性（北大院総化 ¹ ・北大院工 ² ）	○富田迪彦 ¹ ・小泉均 ²
P77*	Cu ²⁺ ,Cl ⁻ を含む高温水溶液中におけるAl合金の腐食とアノード酸化皮膜形成による防食（旭川高専 ¹ ・ダイキン工業 ² ）	○杉浦みのり ¹ ・越智敬祐 ¹ ・永井かなえ ¹ ・姉帯一樹 ¹ ・平賀拓也 ¹ ・兵野篤 ¹ ・千葉誠 ¹ ・柴田豊 ² ・高橋英明 ¹
P79*	ポリ安息香酸ビニル誘導体側鎖の光解離反応によるカーボンナノチューブとの複合体形成（千歳科技大 ¹ ・北大院歯 ² ）	○西岡祐哉 ¹ ・馬場拓麻 ¹ ・高田知哉 ¹ ・阿部薰明 ²
P81	対流圏におけるハロカーボンの光反応ダイナミクス（北大院工）	○加藤晃一・井山哲二・田地川浩人
P83	最小フラーレンC ₂₀ の電子状態と反応性（北大院工）	○川畠弘・田地川浩人
P85*	7,7,8,8-テトラシアノキノジメタンのフォトルミネッセンスにおける溶媒依存性（室蘭工大）	○玉谷穂菜美・伊藤隆一・菅野真生・中野英之・飯森俊文
P87*	ESIPT型色素BTImpの励起波長に依存した多色蛍光特性（千歳科技大 ¹ ・東北大多元研 ² ）	○土屋早紀 ¹ ・坂井賢一 ¹ ・菊地毅光 ² ・芥川智行 ²
P89*	ポリスチレン誘導体側鎖の光解離反応によるカーボンナノチューブとの複合体形成（千歳科技大 ¹ ・北大院歯 ² ）	○馬場拓麻 ¹ ・高田知哉 ¹ ・阿部薰明 ²
P91*	剣淵粘土処理布のXRF分析（北教大院 ¹ ・北教大 ² ）	○熱海春奈 ¹ ・小松恵美子 ² ・岡村聰 ² ・森田みゆき ²

14 : 20 ~ 15 : 20	【A会場】		
15 : 20 ~ 15 : 30	休憩/PC接続	休憩/PC接続	休憩/PC接続
15 : 30 ~ 16 : 30	<p>《触媒化学》 座長：<未定></p> <p>1A17* Anatase and rutile polymorphic forms isolated from commercial P25 titania for photocatalytic degradation of chemical and microbiological pollutants (Graduate School of Envi. Sci.¹・Institute of Inorganic Technology and Environment Engineering, West Pomeranian University of Technology, Szczecin, Poland²・ICAT, Hokkaido Univ.³) ○Kunlei Wang・Agata Markowska-Szczupak²・Maya Endo³・Bunsho Ohtani^{1,3}・Ewa Kowalska^{1,3}</p> <p>1A18* Fe-N-C触媒被覆カーボンナノチューブ電極の酸素還元能（北大理¹・北大院総化²・北大院理³） ○内堀揚介¹・金制憲²・保田諭³・村越敬³</p> <p>1A19 Influence of particle morphology on photocatalytic activity of octahedral anatase titania particles (Institute for Catalysis, Hokkaido University) ○Zhishun Wei・Ewa Kowalska・Bunsho Ohtani</p>	<p>《生物・生化学・その他》 座長：<未定></p> <p>1B17* 紅藻ミツデソゾ (Laurencia okamurae) 由来プロモペルオキシダーゼの性状解析（北大院環境科学¹・八戸高専²） ○石川高史¹・金子賢介²・湯曉蓉¹・鷺尾健司¹・森川正章¹・沖野龍文¹</p> <p>1B18* トリガーファクターシャペロンによるプロリンcis-trans異性化反応の作用機序（北大理¹・北大院総化²・北大院理³） ○川越聰一郎¹・齋尾智英^{2,3}・石森浩一郎^{2,3}</p> <p>1B19* 核小体タンパク質 Nucleophosminの多量体化におけるリン酸化の役割（北大院総化・北大院理） ○古田純也・清田雄平・鎌田瑠泉・坂口和靖</p> <p>1B20 高分子中のルブレンの電場変調吸収スペクトルと電場誘起消光（室蘭工大） ○伊藤隆一・中野英之・飯森俊文</p>	<p>《表面処理・腐食防食・無機化学・無機合成》 座長：<未定></p> <p>1C17* さまざまな条件で合成したカプセルを分散させた自己修復性塗膜について（旭川高専¹・Free University Brussels²） ○山田千波¹・姉帯一樹¹・奥山遙¹・杉浦みのり¹・佐藤優樹¹・Sven Pletincx²・Hilke Verbruggen²・兵野篤¹・千葉誠¹・Iris De Graeve²・Herman Terryn²・高橋英明¹</p> <p>1C18* レーザ局部活性化法を用いる鉄の水素拡散係数の測定（北大院工¹・JFEスチール²） ○五十嵐洸哉¹・坂入正敏¹・長尾彰英²</p> <p>1C19* 液中レーザーアブレーショ n法を用いたニッケル由来ナノ粒子の合成とファラデー回転スペクトル（室蘭工大） ○本田桂太・飯森俊文</p> <p>1C20* 系間交差を経由する反応経路の理論的研究：モリブドセンにおけるCOとH₂の吸着（北大触媒研¹・琉大理²） ○渡邊恵二郎¹・東雅大²・中谷直輝¹・中山哲¹・長谷川淳也¹</p>
16 : 30 ~ 17 :	<p>【A会場】特別講演</p> <p>堂免一成先生（東京大学大学院工学系研究科）「高効率・大面積化を目指した水分解光触媒シートの開発」</p>		

40	
17 : 40 ~ 18 : 00	移動 (FCC棟からエンレイソウ・エルムへ)
18 : 00 ~ 20 : 00	懇親会 (エンレイソウ・エルム)

2016年1月20日 (水)

時間帯	A会場《レクチャーホール》	B会場《セミナー室2》	C会場《セミナー室1》
09 : 00 ~ 10 : 00	<p>《エネルギー・その他》 座長：大谷文章（北大触媒研）</p> <p>2A01* 原油中の水粒子の挙動および原油中水エマルジョンの安定化因子の検討（秋田大院工）○中野知佑・藤原卓憲・池内孝夫・進藤隆世志</p> <p>2A02* バイカル湖南湖盆南岸沖湖底表層ガスハイドレート含有堆積物コア間隙水の測定（北見工大¹・ロシア科学アカデミーシベリア支部陸水学研²・ゲント大学レナード海洋地質学センター³）○笠島陵¹・押切望¹・佐々木浩祐¹・菊地秀一¹・八久保晶弘¹・坂上寛敏¹・南尚嗣¹・山下聰¹・二高橋信夫¹・庄子仁¹・Tatyana Pogodaeva²・Oleg Khlystov²・Lieven Naudts³・Marc De Batist³・Mikhail Grachev²</p> <p>2A03* サハリン南西沖タタールトラフ海底表層ガスハイドレート含有堆積物コア間隙水の化学分析（北見工大¹・韓国極地研²・ロシア科学アカデミーP.P.シルショフ海洋学研³・ロシア科学アカデミーV.I.イリチヨフ太平洋海洋学研⁴）○押切望¹・菊地秀一¹・佐々木浩祐¹・笠島陵¹・八久保晶弘¹・坂上寛敏¹・南尚嗣¹・山下聰¹・二高橋信夫¹・庄子仁¹・Young K. Jin²・Boris Baranov³・Anatoly Obzhirov⁴</p> <p>2A04* バイカル湖ククイキャニオング湖底表層堆積物コア間隙水のイオノン濃度の比較（北見工大¹・ロシア科学アカデミーシベリア支部陸水学研²・ゲント大学レナード海洋地質学センター³）○佐々木浩祐¹・笠島陵¹・菊地秀一¹・押切望¹・八久保晶弘¹・坂上寛敏¹・南尚嗣¹・山下聰¹・二高橋信夫¹・庄子仁¹・Tatyana Pogodaeva²・Oleg Khlystov²・Lieven Naudts³・</p>	<p>《高分子化学》 座長：<未定></p> <p>2B01* 1-アセチルアミノピレンの発光色変化（室蘭工大¹・北大院工²）○永田英介¹・竹内脩悟¹・中西貴之²・長谷川靖哉²・馬渡康輝¹・中野英之¹</p> <p>2B02* 寒天ゲル中におけるアゾベンゼン系フォトクロミック分子ガラスの光変形（室蘭工大）○市川亮太・中野英之</p> <p>2B03* CNSL由来塗料の硬化検討（明大院理工¹・明大理工²）○伊藤賢吾¹・本多貴之²</p> <p>2B04* マルチクリック環化反応を用いた多環状ポリエーテルの精密合成（北大院総化¹・北大院工²）○松野拓彦¹・佐藤悠介¹・磯野拓也²・田島健次²・佐藤敏文²</p>	<p>《電気化学》 座長：<未定></p> <p>2C01* リン酸塩ガラスのアルカリプロトン置換による中温域プロトン伝導体の作製（北大電子研¹・阪大院工²）○宮崎篤¹・山口拓哉²・海住英生¹・小俣孝久²・西井準治¹</p> <p>2C02* グラフェン/Au(111)電極におけるプロトン透過能評価（北大理¹・北大院総化²・北大院理³）○中島浩司¹・熊谷諒太²・保田諭³・村越敬³</p> <p>2C03 Au電極表面に構築したグラフェンへの電気化学的分子修飾（北大院環境科学¹・北大院総合化学²・北大院地球環境³・北大院理⁴）○丹野駿¹・熊谷諒太²・加藤優^{1,3}・保田諭^{2,4}・村越敬^{2,4}・八木一三^{1,3}</p> <p>2C04* PEFC用電解質膜の高性能化に向けた複合材料の検討（室工大院）○三田村諒・田邊博義</p>

	Marc De Batist ³ · Mikhail Grachev ²		
10: 00 ~ 10: 10	休憩/PC接続	休憩/PC接続	休憩/PC接続
10: 10 ~ 11: 10	<p>《化学工学・石油学・触媒化学》 座長：<未定></p> <p>2A05* 超音波法による高濃度グラフエン分散液の調製（室工大院工） ○土橋礼奈・山中真也・高瀬舞・空閑良壽</p> <p>2A06 グラフエン-酸化チタン複合光触媒をもちいる硫化水素分解（室蘭工大）○高瀬舞・土橋礼奈・神田康晴・山中真也</p> <p>2A07* 不均一系光触媒酸素生成反応の光強度依存性にもとづく多電子移動機構の解析（北大院環境科学¹・室工大院工²・北大触媒研³） ○竹内脩悟¹・高瀬舞^{2,3}・高島舞^{1,3}・大谷文章^{1,3}</p> <p>2A08* メソポーラスシリカ白金触媒によるエチレンの酸化メカニズムに関する理論的研究（北大触媒研） ○宮崎玲・中谷直輝・横谷卓郎・中島清隆・福岡淳・長谷川淳也</p>	<p>《その他・分析化学・センサー》 座長：<未定></p> <p>2B05* 新規電荷移動錯体$(ET)_3(Cl_2TCNQ)_2(CHCl_3)_2$が示す多様な機能性（北大理¹・北大院理²）○中田智美¹・高橋幸裕^{1,2}・長谷川裕之²・原田潤^{1,2}・稻辺保^{1,2}</p> <p>2B06* 有機・無機複合ハイブリッドハロゲン化銅ペロブスカイトの構造と物性（北大理¹・北大院理²） ○岡亜寿紗¹・長谷川裕之²・高橋幸裕²・原田潤²・稻辺保²</p> <p>2B07* Ni包含ナノグラフエンを含む機能性炭素電極による酸素および塩素化学種のフロー分析（旭川高専） ○齋藤僚・中川省吾・宮越昭彦・小寺史浩</p> <p>2B08* 新規金ナノ粒子埋め込みカーボン薄膜電極の開発と水中ヒ素イオンの現場測定への応用（筑波大院¹・産総研²・千葉工大³・埼玉工大⁴）○加藤大喜^{1,2}・鎌田智之^{2,3}・加藤大²・丹羽修^{2,4}</p>	<p>《電気化学》 座長：<未定></p> <p>2C05* Auナノ粒子積層構造による酸化チタン電極の可視光電変換能制御（北大理¹・北大院総化²・北大院理³）○安田健介¹・戸田貴大²・Xiaowei Li²・南本大穂³・保田諭³・村越敬³</p> <p>2C06* 色素励起子-プラズモン強結合状態の電気化学<i>in-situ</i>表面増強ラマン散乱評価（北大理¹・北大院総化²・北大院理³）○加藤郁也¹・脇坂優美²・南本大穂³・村越敬³</p> <p>2C07* 電気化学手法による金属構造ナノ制御と<i>in-situ</i>顕微散乱分光評価（北大理¹・北大院総化²・北大院理³）○及川隼平¹・大貫温順²・木村夏実²・南本大穂³・村越敬³</p> <p>2C08* Enhanced Photocurrents of Size-Controlled PbS Quantum Dots Coupled with Gold Nanoparticles towards Multiple Exciton Generation（北大院総合化学）○Xiaowei Li・Takahiro Toda・Hiro Minamimoto・Kei Murakoshi</p>
11: 10 ~ 11: 20	休憩/PC接続	休憩/PC接続	休憩/PC接続
11: 20 ~ 12: 20	<p>《触媒化学》 座長：<未定></p> <p>2A09* シリカ担持白金触媒によるメチルメルカプタンの除去（北大理¹・北大触媒研²）○中原真希¹・中島清隆²・福岡淳²</p> <p>2A10 炭化水素を用いたNO接触還元反応 -CO添加効果におけるアルミナ含有不純物の影響-（北見工大）○木村文也・宮本明綱・岡二崎文保</p> <p>2A11* 半導体粒子による光触媒反応の活性支配因子としての電子トラップ密度の解析（北大院環境科学¹・北大触媒研²・室工大院工³・九工大院工⁴）○新田明央¹・高瀬舞^{2,3}・高島舞^{1,2}・村上直也⁴・大谷文章^{1,2}</p> <p>2A12* リン添加ルテニウム触媒によるエチレン中のアセチレンの選択的水素化反応（室蘭工大院工）○小林祐司朗・神田康晴・上道芳夫</p>	<p>《分析化学・センサー》 座長：<未定></p> <p>2B09* Kinetics Study of Indirect Competitive Inhibition Immunoassay Using Au NP Modified Antibody（北大院環境科学¹・ウシオ電機²）○Dulal Chandra Kabiraz¹・森田金市²・川口俊一¹</p> <p>2B10* ATP測定のための電気化学酵素センサーの開発（北大院総化¹・北大院工²）○西山慶音¹・真栄城正寿²・石田晃彦²・谷博文²・渡慶次学²</p> <p>2B11* 蛍光偏光イメージングによる複数サンプルの同時イムノアッセイ（北大院総化¹・北大院工²・東工大院理工³）○若尾摶¹・真栄城正寿²・石田晃彦²・谷博文²・火原彰秀³・渡慶次学²</p>	<p>《電気化学》 座長：<未定></p> <p>2C09 ナノ粒子電極触媒の硝酸還元活性（北大院環境科学¹・北教大札幌²）○荒木愛¹・加藤優¹・田口哲²・八木一三¹</p> <p>2C10 錫を修飾した金属単結晶電極を用いた硝酸還元（北大院環境科学）○奥井学・加藤優・八木一三¹</p> <p>2C11 コバルト複核錯体をカーボンに組み込んだ電極触媒の酸素還元活性（北教大函館¹・北大院地球環境²）○米内翼¹・加藤優²・松橋博美¹・八木一三²</p> <p>2C12* 固形塩素の分解により発生する塩素系物質の電極反応解析（旭川高専）○中川省吾・小寺史浩</p>

	<p>2B12* ルシフェラーゼ内封リポソームを用いたオンチップイムノアッセイ（北大院総化¹・北大院工²） ○中谷友祐¹・真栄城正寿²・石田晃彦²・谷博文²・渡慶次学²</p>
12: 05 ～ 14: 20	<p>昼休み/PC接続・【1階エントランスホール・2階ホワイエ】ポスター発表（偶数）</p> <p>P02 プロロセンチンのC22-C37セグメントの改良合成の検討（秋大院工学資源¹・北大理²・北大院理³）藤原憲秀¹・○栗山佑世²・上遠野亮³・鈴木孝紀³</p> <p>P04* 有機ゲルマニウム化合物Ge-132と糖化合物との相互作用性—NMRレポーター分子による評価—（岩手連大¹・浅井ゲルマニウム研²・帯広畜大³）○島田康弘^{1,2}・佐藤克行²・中村宜司²・長澤孝枝²・得字圭彦^{1,3}</p> <p>P06* バイオ資源である漆を用いた新規彩色塗料の開発（明大院理工¹・明大理工²）○文岩知己¹・本多貴之²・宮腰哲雄²</p> <p>P08* 天然真珠層由来の構造色ゲルの創製（北大院生命科学¹・北大院先端生命²）○太田玖美¹・野々山貴行²・中島祐²・黒川孝幸²・グン剣萍²</p> <p>P10* ポリメタクリレートからなる分子内架橋ナノ粒子の合成と物性評価（北大院総化¹・北大工²・北大院工³）○渡部航大¹・田中涼斗²・磯野拓也³・田島健次³・佐藤敏文³</p> <p>P12* チオフェンオリゴマーの導電性状態の安定性（北大工¹・北大院工²）○鶴田明日香¹・小泉均²</p> <p>P14* ピレン骨格を含む新規発光性アモルファス分子材料の合成とメカノフルオロクロミズム（室蘭工大¹・北大院工²）○米田祥二¹・永田英介¹・荒拓哉¹・大曲駿²・中西貴之²・長谷川靖哉²・中野英之¹</p> <p>P16* アゾベンゼン系フォトクロミックアモルファス分子材料—イオン液体ハイブリッド膜に形成される相分離構造の光変化（室蘭工大）○岩下知央・中野英之</p> <p>P18 LiYb_{1-x}(WO₄)₂:xSb³⁺の合成とアップコンバージョン発光特性（室工大工¹・室工大院工²）○穴井真亮¹・示村拓也²・澤口直哉²・佐々木眞²</p> <p>P20* 液中レーザーブレーション法を用いたコバルト由来ナノ粒子の作成とファラデー回転スペクトルの測定（室蘭工大）○谷洋平・神田康晴・上道芳夫・飯森俊文</p> <p>P22* メタルメタルを含む発光性物質の光学特性評価と応用（室蘭工大¹・長崎大院工²）○高橋里依¹・作田絵里²・高瀬舞¹</p> <p>P24* 分子動力学法による β-LiAlSiO₄の物性評価（室蘭工大）○野口将斗・澤口直哉・佐々木眞</p> <p>P26* 発光性銅（I）錯体の合成およびメソポーラス有機シリカへの固定化（北大理¹・北大院総化²・北大院理³・JSTさきがけ⁴・豊田中研⁵）○柳田沙瑛¹・齋藤賢人²・岡野友香²・吉田将己³・小林厚志^{3,4}・前川佳史⁵・稻垣伸二⁵・加藤昌子³</p> <p>P28 Pt-Ni合金ナノ構造体の調製とキャラクタリゼーション（北大院環境科学）○徳田翔一・加藤優・八木一三</p> <p>P30* 含鉄多元系粒子の合成と物性評価（室蘭工大）○根岸里奈・高瀬舞</p> <p>P32 Sr₂Bi₂O₅の合成と光学的・電気的性質（室工大工¹・室工大院工²）○阿部雄太¹・大谷玲文²・澤口直哉²・佐々木眞²</p> <p>P34 炭化水素を用いたNO接触還元反応—NO酸化反応に対するH₂, CO添加効果—（北見工大）○水谷匠・宮本明綱・岡二崎文保</p> <p>P36 脱硫プロセスにおける硫化水素直接改質の検討（室工大院工）○神田康晴・高瀬舞・中山真也</p> <p>P38* 液-液反応による酸化チタン粒子の合成と評価（室蘭工大）○三木田郁弥・高瀬舞</p> <p>P40 メタン直接改質反応—Ni系触媒における助触媒の検討—（北見工大）○谷井峻祐・大塚葵・濱屋尚史・岡二崎文保</p> <p>P42 酵素モデル化合物を用いた石灰化反応制御（北大院歯）阿部薰明・○吉沢早織・吉田靖弘・飯田順一郎</p> <p>P44 エノキタケ菌株の非凍結保存-保護液と温度の影響-（旭川高専）○石川捺季・小林育美・富樫巖</p> <p>P46* ボロン酸含有薄膜のハイブリッド化による糖に応答した多彩な色調変化の実現（北見工大）○吉川和也・中橋一誌・兼清泰正</p> <p>P48* 芳香族炭化水素の光誘起ヒドロキシル化反応（北大理¹・北大院理²）○本橋望¹・三浦篤志²・藤井翔²・喜多村二昇²</p> <p>P50* JA士幌じゃがいもでんぶん工場廃液の分析と再利用化への検討（北大院環境科学¹・日立化成株式会社²）○鎌田詢也¹・上面雅義²・川口俊一¹・田中俊逸¹</p> <p>P52* 交互吸着法による過酸化水素応答性薄膜の作製（北見工大）○竹田直樹・竹島完・兼清泰正</p> <p>P54* ボロン酸含有薄膜を用いた高感度グルコースセンサーの開発（北見工大）○中橋一誌・兼清泰正</p> <p>P56* 堂光基含有ボロン酸ポリマーが示す分子認識特性（北見工大）○竹島完・兼清泰正</p> <p>P58* 光化学反応により生成した塩素系物質の電気化学的検出（旭川高専¹・北大院総化²）○中川省吾¹・豊田奈流¹・西村基²・小寺史浩¹</p> <p>P60* 環境水中糞便性大腸菌の死滅および不活化に要する太陽光の定量的評価（北見工大）○山本陽平・工藤祥</p>

	<p>《触媒化学・化学工学・石油学》 座長：<未定></p> <p>2A13 酸素存在下においてもアナモックス類似反応に活性を示す担持金属触媒の探索（北大院環境科学¹・北大院地球環境²）○齋藤夏実¹・神谷裕²</p> <p>2A14* 酸化鉄系触媒による多価アルコールからの不飽和炭化水素合成（北大院工¹・東工大院理工²）○寺井和宏¹・設楽裕史¹・中坂佑太¹・多湖輝興²・増田隆夫¹</p> <p>2A15* 水/有機溶媒による褐炭の改質及び有用化学物質製造（北大院工¹・東工大院工²）○鈴木健太¹・中坂佑太¹・吉川琢也¹・多湖輝興²・増田隆夫¹</p>	<p>《分析化学・センサー》 座長：<未定></p> <p>2B13* がん診断のためのエクソソームの無標識検出（北大院総化¹・名大院工²・ナノバイオ研セ³・北大院工⁴）○阿尻大雅¹・安井隆雄^{2,3}・石田晃彦⁴・谷博文⁴・真榮城正寿⁴・馬場嘉信^{2,3}・渡慶次学^{3,4}</p> <p>2B14* 腐植物質前駆体の酸化重合過程に伴うヘマタイトから海水への鉄の溶出挙動（北大工¹・北大院工²）○田中淳¹・Apichaya Anekampant²・小玉立²・福嶋正巳²</p> <p>2B15* テトラハロビスフェノールA-腐植酸カッピング化合物の安定性評価（北大院工¹・北大工²）○小玉立¹・五十嵐真美¹・小田光希²・福嶋正巳¹</p> <p>2B16* ピリジル基を含む四座配位子で形成された非ヘム錯体によるトリブロモフェノールの酸化分解（北大工¹・北大院工²）○小田光希¹・五十嵐真美²・小玉立²・福嶋正巳²</p>	<p>《電気化学》 座長：<未定></p> <p>2C13* アノード酸化によるポーラス型酸化タンゲステンの作製とナノ構造（北大院工）○川嶋潤・菊地竜也・夏井俊悟・鈴木亮輔</p> <p>2C14* Wイオン含有塩化物溶融塩における電解電位と電析物中のW濃度との関係（北大院工）○佐藤壱樹・松島永佳・上田幹人</p> <p>2C15* EMIC-AlCl₃イオン液体からのAl電析における攪拌の効果（北大工¹・北大院工²）○高橋久智美¹・松島永佳²・上田幹人²</p> <p>2C16* イオン液体との置換反応による金属Na中のKとCaの除去（北大工¹・北大院工²）○水上駿太¹・松島永佳²・上田幹人²</p>
14 : 20 ~ 15 : 20			



これまでの終了行事報告

2015年度公開セミナー

平成 27 年度の北海道支部公開セミナーは、7 月 27 日(月)に北見工業大学において開催された。福島正巳先生(北海道大学大学院工学研究院)を講師に迎え、「腐植物質の化学:農工連携の試み」と題してご講演いただいた。

北見工業大学の教員や学生に近隣の方々を加え、74 名が受講した。福島先生は豊富な研究

成果を熱心かつわかりやすく語られ、聴衆から続々と寄せられる質問にも丁寧に答えられていた。北見には珍しく蒸し暑い日であったが、会場の熱気はそれを遥かに上まわるものであった。

(北見工業大学バイオ環境化学科 齋藤 徹)

2015年 北海道地区化学教育研究協議会



2015 年北海道地区化学教育研究協議会は、11 月 7 日(土)午前 10 時から北海道大学大学院地球環境科学研究院 D-201 講義室にて開催された。参加者は、学生 29 名、小中高等学校教諭 43 名、大学教員 16 名の計 88 名で、非常に多くの関係者が道内各地から集まった。

北海道地区化学教育研究協議会丸木克朗会長(北海道釧路江南高等学校長)と日本化学会北海道支部松橋博美支部長(北海道教育大学函館校教授)の開会挨拶の後、国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官の野内頼一先生の「次世代を育てる理科教育」と題する特別講演が行われた。生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、判断の根拠や理由を示しながら自分の考えを述べることに重点をおいた理科教育について、小中学校での実例を交えながら紹介された。午後からは、小中高大から 1 名ずつ演者が登壇し、横倉慎先生(札幌市立栄西小学校教諭)から「小学校理科教育における問題解決学習 第6学年『水溶液』」の実

践を通して」、柴田敬祥先生(釧路市立幣舞中学校教諭)から「科学的素養の育成—粒子領域から始まる中学校理科の単元構成を生かした活用型授業の工夫 ~中学校1学年の実践を通して」、佐藤友介先生(北海道釧路湖陵高等学校教諭)から「高校化学分野における授業の工夫・改善 ~メタ認知の育成を目指した、探求的な活動を取り入れた授業実践」と題する提言が行われ、山田が「発光現象を利用した化学実験教材」として蛍光・化学発光を利用した教材を演示紹介した。講演の後、5名の演者をパネリストとして「小・中・高・大学での研究実践と課題に関する討論」が行われ、最後に宇都正幸支部長が閉会挨拶を行った。

研究協議会終了後は例年通り、ホテルダイナスティで懇親会が行われ(参加者 27 名)、食事をしながら参加者の活発な意見交換が行われた。

(北海道大学大学院地球環境科学研究院
山田 幸司)

若手交流事業

第 33 回九州分析化学若手の会 夏季セミナーに参加して

角地 優子

去る平成 27 年 7 月 24~25 日に熊本県上天草市の亀屋ホテル華椿で開催された「第 33 回九州分析化学若手の会夏季セミナー」に日本分析化学会北海道支部と九州支部の交流事業の一環として、参加させていただきました。私事ではありますが、九州訪問は初めてであり、見知らぬ風景に期待を膨らませて、熊本に向かいました。熊本に到着したとき、市内のいたるところにゆるキャラの“くまもん”があり、その多さに驚きました。

本セミナーは、九州地方の学生や若手研究者、企業研究者の交流及び研究の進展を目的としており、26 研究室/団体から 126 名が参加されました。初日に招待講演、模範ポスター講演、一般ポスター発表、情報交換会、2 日目に九州分析化学奨励賞受賞講演が行われました。ポスター発表では、発表者が多かったため、2 部に分けられており、発表者であった私も他の方の発表を聞きに行くことができました。九州支部の方の発表は、薬剤やタンパク質、DNA に関する分析をされている方が多く、今まで私自身が触れてきた研究分野と異なる



ポスター発表風景

ため、何もかもが新鮮でした。また、幸いにも私自身、ポスター賞をいただくことができました。

私は、6 月は北海道支部主催の緑陰セミナーに参加致しましたが、本セミナーでは、緑陰セミナーにはない工夫がありました。例えば、ポスター発表の前に、模範ポスター講演というものが設けてありました。これは、第 52 回化学関連支部合同九州大会 九州分析化学ポスター賞を受賞された学生がポスター発表の模範するのを見るものであり、ポスターの見やすさや、発表の仕方について、とても参考になりました。

また、招待講演や九州分析化学奨励賞受賞講演に対するよい質問をした学生にベスト質問賞が贈られ、こういうのも学生の刺激になると感じました。

夕食の際は、研究室紹介がありました。1 研究室 3 分という短い時間で行うために、コントや一発芸などを行うグループが多く、緑陰セミナーと違ったにぎやかさがありました。



全体集合写真

その後の情報交換会では、九州支部の多くの先生方や学生と意見を交わすことができ、北見という土地柄、なかなか他の学生と意見を交わす機会が少ない私にとって、とても貴重であり、今後の励みになりました。

最後に紙面上をお借りして、このような機会を与えていただきました、本セミナーの世話人であり

ます熊本大学 大平 慎一先生をはじめ、九州支部の先生方、指導教員であります北見工大 大津 直史先生、北海道支部長 北見工大 宇都正幸先生をはじめ北海道支部の先生方に深く感謝申し上げます。

(北見工業大学マテリアル工学専攻

博士前期課程 1年)

日本分析化学会 第65年会のお知らせ

支部会員の皆様は既にご存知のことと思いますが、分析化学会の第 65 年会が北大の工学部で開催されることになりました。会期は 2016 年の 9 月 14 日から 16 日までの 3 日間です。年会は分析化学会の 7 つの支部が持ち回りで開催するものであり、7 年周期で担当が巡ってきます。前回は、2009 年に第 58 年会が中村博実行委員長のもとで開催されています。年会は 1300 名程度の会員が集まる学会最大の行事であり、講演申し込みや参加登録の業務は本部が行うことにはなっていますが、年会の実施のための準備作業は膨大なものとなります。支部の幹事のほぼ全員に実行委員になっていただき役割分担を行って取り組まなければなりません。「ぶんせき」誌の扉にも書かせていただきましたが、年会の準備作業を行う中から支部会員間の交流も生まれ、それが年会を盛り上げるとともに、その後の 6 年間の支部活動を支える原動力になっているような気がします。

さて、これまでの年会開催のための準備状況をお知らせします。4 月に開催された平成 27 年度の支部幹事会の中で、第 65 年会の準備委員会を開催し、そこで開催日と開催場所を決めるとともに、各委員のおおよその役割分担を承認していただきました。また、10 月には各担当の責任者に集まっていただき責任者会議を開催いたしました。さらに 11 月の支部幹事会の後に、第 1 回の実行委員会を開催いたしました。この時には本部理事の内山先生にも来ていただき、本部主催のシンポジウムの実施について意見交換をすることもでき



ました。それと同時に、5 月の山梨大での討論会では、第 65 年会の会場と開催日を示したポスターを休憩室に掲載しました。また、9 月に九大で開催された第 64 年会では、北海道の秋のイメージを示したチラシを参加者全員に配布するとともに、懇親会の席上で第 65 年会の案内を行いました。

これまでの実行委員会等の協議の中で、決まりつつあることを以下に示します。

【シンポジウム】

- ・特別シンポジウム(実行委員会主催)
化学教育における分析化学の役割
医療に関わる分析化学
農工連携と分析化学
界面現象を解明する分析化学
環境に関わる分析化学
若手シンポジウム:若手研究者サバイバル
術
- ・第三回アジア分析科学シンポジウム(本部
主催)
- ・産業界シンポジウム(本部主催)
- ・

【プログラム】

9月14日(水):

一般講演(口頭), 若手講演(口頭・ポスター), 依頼講演(口頭), テクノレビュー講演(口頭), 研究懇談会講演, 特別シンポジウム, 受賞講演, ランチョンセミナー

9月15日(木):

一般講演(口頭・ポスター), 若手講演(口頭・ポスター), 依頼講演(口頭), テクノレビュー講演(口頭), 研究懇談会講演, 特別シンポジウム, 受賞講演, ランチョンセミナー, 学会賞等授賞式, 学会賞受賞講演, 懇親会

9月16日(金):

一般講演(口頭・ポスター), 若手講演(口頭), 依頼講演(口頭), テクノレビュー講演(口頭・ポスター), 研究懇談会講演, 特別シンポジウム, 受賞講演

【付設展示会】

9月14日(水)～16日(金)

【講演区分】

- ・一般講演 15分(講演12分, 質疑応答3分)
- ・若手講演 10分(講演7分, 質疑応答3分)
- ・依頼講演 20分(講演17分, 質疑応答3分)
- ・テクノレビュー講演 30分
(講演25分, 質疑応答5分)
- ・技術功績賞・奨励賞受賞講演 30分

(質疑応答時間含む)

- ・学会賞受賞講演 40分(質疑応答時間含む)
- ・研究懇談会講演 60分または30分(質疑応答時間含む)
- ・ポスター発表(一般・若手・テクノレビュー)
コアタイム60分
- ・

【ランチョンセミナー】

9月14日(水)・15日(木)12:15～13:05

【学会賞等授賞式】

9月15日(木)13:20～14:10

【学会賞受賞講演】

9月15日(木)14:20～16:20

【ミキサー】

9月15日(木)18:30～20:00(若手ポスター
賞授与式18:30～19:00)懇親会と同時開催

【懇親会】

9月15日(木)18:30～20:30 キリンビール
園本館中島公園店(地下鉄南北線中島公
園駅徒歩2分)

大きな変更点として、これまで年会初日に行っていたミキサーを懇親会と同時開催とし2日目に実施することにしました。今回の懇親会場がキリンビール園でジンギスカンを行うことから、教員も学生も一緒になって交流することにしたものです。

今後の予定として、2016年の4月に第2回実行委員会を行うことを予定しています。支部の皆様の益々のご協力をお願いいたします。

なお、本年8月の終わりより実行委員会の事務を春木心さんに手伝ってもらっています。毎週火曜日と金曜日の9時から14時までの勤務となっていますので宜しくお願ひします。

実行委員長 田中 俊逸
(北海道大学大学院地球環境科学研究院)



支部会員の欄

この欄では分析化学会北海道支部の転入や転出、新入会など会員に関する情報を伝えします。次の方々の入会が認められた（「ぶんせき」誌2015年7月号～11月号のお知らせ欄掲載分）ほか、転入及び退会の情報をお寄せいただきました。会員に関する情報をお持ちの方は、支部ニュース編集委員までお知らせください。

新入会のみなさん

明本 靖広（北海道大学大学院環境科学院）
坂上 寛敏（北見工業大学大学院）
Aneksampant Apichaya（北海道大学）
(敬称略、順不同)

編集後記



支部ニュース第52号をお届けいたします。この度、ご多忙の中、ご寄稿頂きました執筆者の皆様に、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。また今回、学生会員を代表して北見工大の角地さんに若手交流事業の報告をご執筆頂きました。支部会員の皆様には次号以降も執筆依頼があるかと存じますが、その際は何卒よろしくお願ひ致します。

さて、本支部ニュース内でも実行委員長の田中

先生からご案内頂きましたように、日本分析化学会第65年会が北海道大学で開催されます。支部会員の皆様と共に盛り上げていければと存じます。

来年度の支部ニュース編集は久保渓女（日生バイオ株、留任）と三原義広（北海道薬科大学薬学科、新任）の二人体制で行う予定です。今後とも支部ニュースへのご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。

（編集委員：堺井亮介、久保渓女）

目次

北海道分析化学受賞者発表／授賞式・受賞記念講演会ご案内	1
《第51回冰雪セミナー》ご案内（藤吉亮子）	2
《化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会》ご案内（蠣崎悌司）	3
《化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会》プログラム	4
《2015年度公開セミナー》報告（齋藤徹）	12
《2015年北海道地区化学教育研究協議会》報告（山田幸司）	12
若手交流事業《第33回九州分析化学若手の会夏季セミナー》に参加して（角地優子）	13
《日本分析化学会第65年会》のお知らせ（田中俊逸）	14

公益社団法人日本分析化学会北海道支部事務局

北見市公園町165 北見工業大学マテリアル工学科内

支部長 宇都 正幸

TEL : 0157-26-9454

E-mail : jsac-hb@w9.dion.ne.jp

URL : <http://www.jsac.or.jp/~hokkaido/index.html>

北海道支部ニュース第52号
日本分析化学会 北海道支部

編集・発行

公益社団法人
日本分析化学会北海道支部

発行日

2015年12月15日